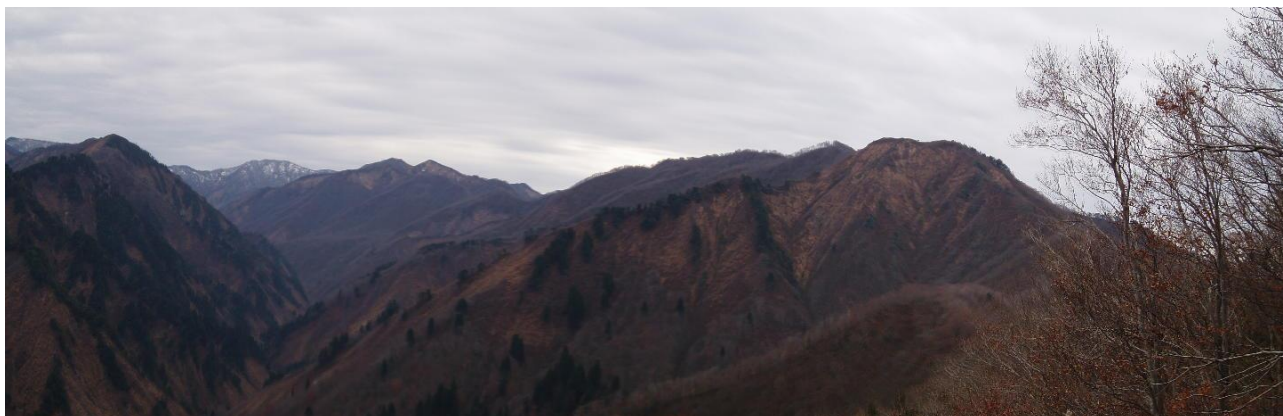


毛石山山行記録



目的地	毛石山	期日	平成18年11月26日(日)	天候	晴/曇
山人	笠原正雄・澄子	特記	傾斜する道の連続と最後の急登が特徴だ。		

地点名	時刻	記事
与板発	6:30	今町からR8に出ると、栗・守門等東の山の暁色が美しい。
駐車地点	8:00~8:15	杉川チャレンジランドへの道の手前を左折するとすぐに登山口看板がある。路側に乗上げて駐める。杉川支流を網目蓋の水路橋を渡る。その水路のコンクリート暗渠上を進むと右手足元に「毛石山」の小さな看板があり、杉林の山道に入る。
鉱山跡	8:35	途中、沢の流れの中を数分進んでから、右岸の傾斜道。ここに上がると、今度は左の沢音が聞こえて来る。尾根に沿った緩やかな傾斜道。
稜線を越える金山神様	9:10	10分ほど九十九折れを急登する。振り返って北を見れば、権現山、大倉・菅名岳、更にその奥に飯豊も見える。尾根を越えた反対側で白山が目に入る。更に傾斜道。
歩道敷借受標柱	9:35~9:10	途中塩ビパイプを引いた水場があった。再び尾根の鞍部を乗越える。ここに来て山頂が見える。銀太郎方面も見えて来た。少し食べる。尾根上に残雪期の踏み跡があるが、やはり尾根に沿う傾斜道を行く。
窪地から急登	10:15	一度窪地に降りてから直登となる。両手で雑木につかまらなければ登れない。大汗だ。途中一息つけるところがあり、展望を楽しむ。
毛石山	10:45~12:00	登り終えて灌木尾根に上がる。もう一つ先へ1~2分進んで山頂。誰も居ない。日差しも受け快適な時を過ごす。二王子と飯豊連峰。雲が動いてだんだんと良く見えて来た。木六~五剣谷、地図とあわせて目で追ってみる。後は白山。灰ヶ岳方向に踏み跡がある。少し行ってみたが、徐々にヤブとなっていく。
窪地へ降りる	12:15	30分かけて登った急登を15分で降りる。雑木から手を離せないほどの急降下だ。
歩道敷借受標柱	12:40~12:45	陽の向きが変わって山頂がはっきりみえ、写真を撮る。(冒頭パノラマ写真:右端が毛石山、先に灰ヶ岳か?、奥に銀太郎と思われる)
駐車地点	14:00	村松・さくらんど温泉で入浴。ロビーに菅名岳を始め、山名を記したパノラマ写真が展示されていた。そして、駐車場から、本日の山が良く見えた。
与板着	17:30	加茂市内に入り、友人牛腸宅に立ち寄る。

川内の山で道のある山は少ないという。そのうちの一つのこの山に注目した。今春歩いた木六山から五剣谷岳を眺めたいとも思った。そして、春山としての灰ヶ岳にも興味があった。また、蛭が出るとの山域でもあるため、入山季を考えなくてはならない。入山者は殆んど無いであろうと思ってはいたが、全く無人で、終日貸切りの山であった。



登路と山頂

